

≫ トップメッセージ

当社は1947年(昭和22年)に株式会社として設立し、2017年(平成29年)に創立70周年を迎えました。これもひとえにさまざまなステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

2017年を振り返りますと、食品流通業界におきましては、国内の雇用環境および所得環境が堅調に推移しているものの、日常の生活関連消費については依然、消費者の生活防衛意識の強さが続いています。一方で、消費者の生活スタイルの変化などにより食生活の多様化、企業を取り巻く競争環境の拡大、人手不足等に伴う物流コストの上昇等の影響により、厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした中、「流通を最適ソリューション」のコーポレートメッセージのもと、「必要な時に必要なモノを必要な量」の供給を可能とするために、日本の豊かな食生活を支えるインフラとして商品の安定供給に努めてまいりました。今後もサービスの多様化に対応すべく、国内の物流拠点での高度な物流機能の強化や物流ネットワークを駆使し、日々の事業活動を通じてサプライチェーンの効率化に貢献していきます。また、海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、既に事業展開している中国・ベトナム・シンガポールと日本を含めたアジア諸国間の食品流通インフラの構築を進めており、マレーシアに本社を置く「Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.」の株式を取得いたしました。当社グループにおける海外事業が占める割合が、今後ますます大きくなってまいります。

今日、世の中ではAI、IoT、ロボティクスなどの技術変化やSNS、AIスピーカーなどの普及とそれに伴うデジタルマーケティングの広がり、また働き方改革やガバナンス改革、コンプライアンスを重視した事業運営などへの社会的要請、人手不足や高齢化などの社会的変化、健康志向や時間消費などの消費購買活動の変化など、様々な構造的な変化が起きています。

このような変化に対応すべく当社グループでは、私たち

の社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」と「長期ビジョン」を掲げ、私たちの事業活動や取り組みを通して「豊かな食生活」を提供し、人々の幸せを実現することを目指しております。また、全社員が変化への意思を持ちスピードをもって行動することが重要と考えており、引き続きグループミッションおよび長期ビジョンにおける「豊かな食生活」とは何かを考え、「食のインフラ」「食のプロフェッショナル」「食のプロデューサー」として求められる機能強化を図り、物流を中心とした現場力の向上により社員一人ひとりの生産性を高め、コスト削減および経営の効率化を進めております。さらに、企業体質をより強固にするために組織力の強化に向けたマネジメント層への研修、営業力強化のための営業マン教育、当社グループの次代を担う若手人材の教育等、各種教育の推進にも注力してまいります。

次の100周年という大きな区切りはまだ先ではありますが、働き方改革やコンプライアンスなど、国内が変革期を迎える今日、既に30年先の100周年を迎える世代が入社しております。今後もこれからの成長に必要な機能を強化し、80年、90年、100年へと歩みを進めるため、変革し続けてまいります。



代表取締役社長

加藤和弥